

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31	現在、けやきでは看取りを行っていないが、利用者が重度化した時、ホームで対応出来る対応にあいまいな部分があり、利用者やご家族、職員も含めて不安がある	ホームでの看取りが可能かどうかも含め、ホームで出来る事出来ない事を明確にし、重度化した方の緊急時の対応、医師への連絡体制、ご家族への連絡をどうするか等、職員間で共有することで不安の軽減に努めていく	ホームでの看取りについて職員会議で話し合いを行い、(必要であれば他のグループホームの見学を行う等して)看取りが可能かどうかを見極めたうえで、ホームでの対応を決める。緊急時の対応や、医師への連絡体制などを再度見直し、職員が誰でも対応できるよう、マニュアル化する	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。